**健康ABC運動を始めましょう！**「**A**nti-**B**oke, anti**-Ca**ncer」

1. 米国からデールプレデセン医師が認知症を９０%治す治療を始めました。それは、今まで、脳神経科では認知症はβアミロイドやタウ蛋白が脳神経細胞にたまって神経が死んでいくと考えてきたのです。病理学的に３種類のアルツハイマーに分類をして、治療しようと考えてきたのですが、膨大な研究と莫大な治療費の割には殆ど成果がありませんでした。しかしデールプレデセン医師は認知症を原因の方から３種類に分類をして、其の原因からの改善を図ったのです。即ち、炎**症性原因と栄養不足による原因と、毒物、例えば、水銀やアルミニウムなどの原因の３つに分類をして、それぞれの対策をすると、認知症は９０%治るというレコード法です。**機能面から改善を図ることにより、認知症が９割治るということは、論理以上に重要です。

そのレコード法が軌道に乗った歴史と、その成果は重要です。そのー部を紹介します、

1. 癌は悪性腫瘍と考えて、手術、制癌剤、放射線治療の３大療法をしてきましたが、先進国程、癌に罹る人が増加して、癌で死ぬ人が増加してきました。これは、癌細胞が悪性細胞で無制限に増殖するという仮説で、治療をしてきたのですが、**癌組織は悪性細胞ではなく、人間自身が自分の細胞を傷つけて、不良少年のような、偽胎児を作ったという概念に変えて、特異的腫瘍マーカー、関連的腫瘍マーカーと、癌血管由来の増殖的腫瘍マーカーの３種類で出来ていると考えて、３種類の腫瘍マーカーを組み合わせれば、癌の―生がほぼ正確に追えます。**

この精度は画像診断の１００倍の精度です。癌の診断が正確にできるのみならず、従来の画像診断の誤診も確実に補填できます。これを使えば、癌の予知予防が出来ますし、癌の再発予防もできます。勿論、生活習慣の改善、不改善も正確に、フォローできますので、人類は初めて健康のバロメターを持てたことになります。

更に、最近、癌**は悪性腫瘍と言って勝手に癌が増殖するような説明がされてきたのですが、癌に罹りやすい宿主因子が明確になりました。それは、ビタモンA,C,Dの低値と、白血球の低値と、サイクリックAMPの低値が宿主因子であることが明確になりました。**これらの問題を解決すれば、癌に罹る人を激減できますし、癌の再発予防も簡単にできますので、**多くの医師たちがTMCA検診を使えば、癌で死ぬ人は激減できます。**

1. 初めに述べた、デールプレデセン医師のレコード法の開発までの歴史は、**病理医学から機能医学への転換の**歴史ですが、我々が開発したTMCA検診も、宿主因子の発見も、まるで、結核症の時に、ツベルクリン、抗生物質の発見により、結核症の死亡者が１７万人から、６千人まで激減した歴史と重なり、癌に罹る人も、癌で死ぬ人も激減するのは間違いがありませんので、これも、形**態医学から、機能医学への転換が必要です**。